

ちいしんぶん 11.7

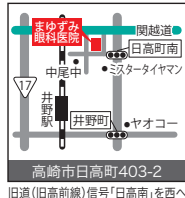
2025(令和7) No.1451

■発行所／ライフケア群衆(株)高崎市小八木町312-15ビジネスパーク小八木 ☎027(370)2262 ☎027(370)2263
ちいしんぶんは、旧高崎市内の約9割のご家庭や事業所のポストに無料で投函させていただいています。新規お届けもしくはご不要等、配布に関する件は上記までご連絡下さい。

まゆずみ眼科医院

●日帰り白内障手術
●神経眼科
●ドライアイ
●コンタクトレンズ

診療時間
午前 8:45～12:30
午後 15:00～18:00
休診日
木曜日・日曜・祝祭日



初診・再診ともに電話での予約可能 ☎027-388-8461



旧高崎スズランの通りで撮影

映画『ブルーボーイ事件』

12.5 高崎公開

1960年代の日本で実際に起きた「ブルーボーイ事件」をもとに、性別適合手術の是非をめぐる裁判と、それに関わった人々を描いた社会派ドラマ『ブルーボーイ事件』。群馬県出身の飯塚花笑監督がメガホンを取り、昭和の街並みを再現した高崎ロケの舞台裏を、シネマテークたかさき支配人の小林栄子さんと語った。



サチが働く喫茶店は「きやらばん」



緑のドレスは高崎出身の村山朋果さん

銀座の街を旧高崎スズラン前で

小林 映画を見て、まず驚いたのは冒頭のシーン。旧高崎スズラン前がまるで銀座の街並みに変わっていました。

飯塚 ロケは2024年5月。高崎スズランは解体工事の最中でした。

撮影できるのは最後のチャンス。美術チームが電話ボックスやポスト、地下鉄の入口まで作り込み、現代的な要素はCGで消して、あの印象的な摘発シーンが生まれたんです。

小林 大がかりな撮影でした。

飯塚 はい。大通りと路地を全面封鎖し、桐生市のクラシックカー愛好家の皆さんに協力いただいていた60年代の車を配置してもらいました。昭和を象徴するミゼット



緑のドレスは高崎出身の村山朋果さん

トが走り抜けたり。朝から撮り始め、夜中まで撮影しました。小林 すごく。ロケは高崎、前橋、伊勢崎を中心にオール群馬で行われた

とか。飯塚 全国をロケハンしましたが、どこも現代の要素が混じってしまう。最終的に群馬の街にこそ、1960年代の空気が残っていると気づきました。

「きやらばん」に漂う昭和の時間

小林 主人公のサチが働いていた喫茶店は、昭和町の「きやらばん」ですね。

飯塚 ロケハンでは10軒近くの喫茶店を回りました。「きやらばん」は時代の香りがあり、芝居を組み立てやすい空間でした。マスターがロケハン中に何杯もコーヒーを淹れてくださったのは忘れられません。

小林 高崎で学生時代を過ごした人には、ちょっと背伸びして行く特別な店ですね。そこが映画の舞台になるのは感慨深いです。

飯塚 柳川町の路地でも撮影しました。高崎出身の俳優、村山朋果さんが娯楽役を演じ、警官に追われる場面です。映画の導入部分を支えてくれました。

小林 法廷劇のシーンは圧巻でした。言葉だけになりがちな場面を、照明やカット割りで見せていましたね。

映画『ブルーボーイ事件』



1965年の東京。警察は売春取締りを強化するが、性別適合手術を受け女性として働く「ブルーボーイ」は法の対象外。警察は手術を施した赤城医師を優生保護法違反で逮捕。喫茶店で働くサチは恋人にプロポーズされ幸福の中、赤城の弁護士から過去の手術を理由に証言を求められる。実在の事件をもとに、時代の偏見と人間の尊厳を問う法廷ドラマ。

飯塚 傍聴席を暗くして証人に光を当てる演出は、撮影監督の芦沢明子さんの提案です。日本を代表する女性力メランマンで、スズラン前のロケも「ここがいい」と言い出したのも芦沢さんでした。

シネマテークでのバイト経験

小林 そういえば花笑さんは大学卒業後、1年間シネマテークたかさきでアルバイトしてたんですね。

飯塚 映画の「出口」、つまり観客に届く場所を経験したくて。フィルム映写機の最後の時代で、映写技師の方に一から教えてもらったのも貴重な経験でした。

小林 「ここで舞台挨拶できるような監督になつて戻ってきます」って言うって東京へ旅立っていった。その若者が、こんな大作を撮る監督になったとは。飯塚 照れますね(笑)。12月6日、シネマテークで「ブルーボーイ事件」の舞台挨拶させていただきます。ぜひ一人でも多くの方にご覧いただければと思います。



飯塚花笑監督(写真左)と小林栄子支配人

飯塚花笑(いづか・かしろう) プロフィール

1990年、群馬県生まれ。高崎経済大学附属高一東北芸術工科大学。トランスジェンダーである自身の経験をもとに制作した『僕らの未来』や『世界は僕らに気づかない』で、高い評価を受ける。

群衆交響楽団 × 高崎芸術劇場 GTシンフォニック・コンサート vol.6

映画音楽名作選
スクリーンでよみがえる
名画選Ⅲ
「ファンタジア」映像付きコンサート

2026年3月7日[土] 14:00開演(13:00開場)
高崎芸術劇場 大劇場

指揮 竹本泰蔵

大好評の声にお応えし、映画音楽とオーケストラのコラボレーション公演第3弾！
今回はディズニーの名画音楽を、迫力ある群衆サウンドでお届けします。
生演奏が映像とびつりシンクロする神業で、音楽の楽しさを、目でも耳でも堪能ください。

出演 竹本泰蔵(指揮) 朝岡聡(ご案内役) 群衆交響楽団(管弦楽)

曲目

第1部 【演奏のみ】	エルガー/威風堂々 第1番 ムソルグスキー/光山の一夜 ストラヴィンスキー/火の鳥
第2部 【映像付き】	ベートーヴェン/交響曲(田園)から カスチーニ〜子守唄〜終曲 デュカス/交響詩《魔法使いの弟子》(編曲:川上肇・CHIAKI) チャイコフスキー/バレエ(くるみ割り人形)(編曲:小塚憲二) ポンキエリ/歌劇(ジョコンダ)から「時の踊り」「フィナーレ」(編曲:川上肇)

料金(税込)

全席指定	S席 5,000円(U-25 2,500円) A席 4,000円(U-25 2,000円) B席 3,000円(U-25 1,500円)
------	---

※出演者・曲目は変更になる場合がございます。 ※全席を上映するものではありません
映像提供:株式会社プレントラスト ※公演内で使用する映像の一部です ※本公演はディズニー社とは一切関係がありません
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※U-25料金は、公演当日25歳以下の方が対象です。当日、年齢のわかる身分証明書を必ずお持ちください。
※車椅子席・介助席のご購入は高崎芸術劇場チケットセンター(TEL:027-321-3900)まで電話でお申し込みください。

高崎芸術劇場
TAKASAKI CITY THEATRE
JR高崎駅東口から徒歩5分 〒370-0841 高崎市栄町9-1

Web

11月7日(金) 10:00~
■高崎芸術劇場メンバーズ限定
【登録無料】
(24時間受付)

電話

11月11日(火) 10:00~
■高崎芸術劇場チケットセンター
Tel.027-321-3900
(10:00~18:00)